資　料　提　供	
令和８年１月７日	
担当課 （担当者）	地域社会振興部美術館　学芸課 教育普及担当（佐藤）
電　話	鳥取県立美術館 0858-24-5441

令和７年度アートな鳥取創出事業

朝鑑賞シンポジウム「朝鑑賞で安心・安全な学校づくりⅡ－実践編」の開催

朝の10分間を使って、学校の先生がファシリテーターとなり対話鑑賞を行う「朝鑑賞」をテーマとしたシンポジウムを開催します。全国各地の小中学校の実践発表や、4人のファシリテーターの個性が光る「ファシリテーションバイキング」等をとおして、「朝鑑賞」が学校に何をもたらし、生徒や教師にどのような変化を生むのかについて、理論と実践の両面から迫ります。

※「朝鑑賞」：「朝ドリル」や「朝読書」等が行われる朝の短時間の学習活動において、美術作品の鑑賞を行う取組。

1　実施日時・場所

1 月 11 日（日）

午前の部　実践発表 10 時から 12 時

午後の部　ファシリテーションバイキング・パネルディスカッション 13 時 20 分から 16 時 30 分

鳥取県立美術館 1F ホール 他（鳥取県倉吉市駄経寺町二丁目 3-12）

2　対象

アートを通じた学びに興味のある方、コミュニケーションに興味のある方、小中学校、高等学校、大学等学校教育関係者、市町村教育委員会関係者、対話鑑賞ファシリテーター登録者、学生等

3　事業内容

鳥取県立美術館では、子どもたちをはじめとするすべての人たちの「アートを通じた学び」を支援する研究室「アート・ラーニング・ラボ（A.L.L.）」を設置し、多様なプログラムを提案している。今回の「朝鑑賞シンポジウム」もその一環として、令和5,6 年度に引き続き 3 回目の開催である。

午前・午後の 2 部構成とし、午前の部は、国内各地の小中学校・行政機関等からの実践報告、午後の部は、武蔵野美術大学教授 三澤一実氏のコーディネートによるパネルディスカッションとする。（詳細は添付の開催要項及びチラシ参照）

週に１回、朝 10 分の「朝鑑賞」が生まれて 10 年。取り組んだ学校では、学力と自己肯定感が目に見えて向上したことが報告され、その取り組みは、全国へと広がりを見せています。さらにその効果は、教師の指導力向上や保護者との関係性にも表れたといいます。体験する多くの人々の変容が期待できるこの取り組みについて、実践者とパネリストをお招きしてシンポジウムを開催いたします。ご来場の皆様からの声もお聞きしながら「朝鑑賞」についての理解を深めるとともに、ご所属での実践へとつなげる機会とします。（チラシより抜粋）

4　取材について

取材にお越しいただく際は、前日 10 日(土)17:00 までにご連絡をお願いします。

＜令和 6 度のシンポジウムの様子＞